

宅老所連絡会 ニュース

編集・発行
事務局 NPO法人たすけあい佐賀内
(西田 京子)
住 所 佐賀県佐賀市長瀬町 10-37
Tel 0952-23-6950 Fax 25-9773
E-mail npo-nagase@voice.ocn.ne.jp

佐賀からのみんなの“思い” しっかい届いています!



みなさんありがとう
ございます!
これで厳しい冬を
あったかく乗り越え
られそうです!

パラソル喫茶 佐賀からの人と物資の支援



◎引き続き「人・物（衣類・陶器等）の支援」をお願いします!

表紙の写真は宮城県におけるパラソル喫茶（避難所や仮設住宅での見知らぬ人同士をつなげるためのコミュニティーづくりの支援活動）での物資支援でのひとコマです。皆様からの温かいご支援は確実に東北のみなさまに伝わっています。

また、宅老所からの現地派遣ボランティアも現在まで8団体から約15名の仲間が佐賀からの思いを現地へ届けてくれています。

東北ではこれから極寒の冬を迎えます。引き続き、物資や人的支援を続けていく予定ですので、息の永い支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「宅老所や地域復興のための支援金」 をお願いいたします!

3月11日の未曾有の大震災より8ヶ月が過ぎました。東北の関係者の方々をはじめ、全ての被災者の皆様に改めて心よりお見舞い申し上げます。佐賀県からも宅老所の関係者をはじめ様々な支援活動が行われてきましたが、年末を迎え一段落ついた雰囲気になってはいますが、現地に派遣しているボランティアの方々の話を聴く限りではまだまだ復興というには遠く及ばない大変な状況だそうです。命がけで冬を乗り越える厳しさに今後は立ち向かっていかなければならないということでした。「今、私たちに何ができるのでしょうか？」息の永い支援活動にするために、この言葉を問かけ続けられればと思います。

どうかこの連絡会の活動にご賛同いただき活動支援金の募金をお願いできれば幸いです！何卒よろしくよろしくお願いいたします。

なお、募金方法は各地の宅老所の皆様から各ブロック世話人に預けていただき、世話人会全体で取りまとめる、若しくは各研修会等で直接、募金をお預かりして「宅老所を全国に広める会（市民協）」や「佐賀県宅老所復興支援プロジェクト」の活動で高齢者や障がい者など社会的弱者への具体的な被災者支援をみやぎ宅老所連絡会を通じて実現できればと考えております！今後も現地派遣のために一人最大4万円の補助を計画しています。ご理解とご協力をなにとぞお願いいたします。

県宅老の「おすすめ本」!

「降りてゆく生き方」

絶大な自然の中で「生かされている存在に過ぎない私達が“無肥料自然栽培・腐敗・発酵”等から「人間」の「生き方」のヒントを見出す自然界との調和を探る一冊です！ぜひご一読を!



【編集後記】

年末に差し掛かり、世間的には東日本大震災のことが少し風化していくようにも感じられます。こんな時だからこそ東北の方々の顔を思い浮かべながら、日々の助け合い活動を行えばと思い今回の表紙をつくりました。

東北の方々は命を懸けて冬に挑むそうです。私たちも日々、地域と向き合い闘いながら、少しでも東北に寄り添っていければいいなあと思いました。皆様はどんな年末年始をお過ごしになりますか？

佐賀県宅老所連絡会会員（2011年8月～2011年11月）

★現在 82団体・108宅老所 です!★

m(_)_m皆様どうぞよろしくお願いいたしますm(_)_m



宅老所開設アドバイザー事業

連絡会では、小規模で多機能な宅老所のような事業所を開設したいという方を応援しています。開設するうえでわからないことなど ご予約の上、お気軽にご相談ください。
(宅老所開設アドバイザー事業は県の補助を受けています)



0952-23-6950

本当の「地域共生」ってなに？ 皆で考えませんか？

【スペシャル企画】「地域共生について（仮）」

あの“富山型デイサービス”の惣万さんがいらっしゃいます。
この機会に「本当の地域共生」について改めて考えてみませんか？

講師：デイサービスこのゆびとーまれ 代表：惣万 佳代子さん
日時：平成24年2月23日（木）19時～21時
場所：アバンセ1階 大ホール
（この事業は平成23年度複数事業所連携事業で行う予定です）



※他にも各ブロックで「複数事業所連携事業」を実施しています
ので詳細は各ブロック世話人にご確認ください。

研修会報告 宅老所の“質の向上”と“交流”を！

※今年度の研修会は震災支援報告と支援金の募金を随時実施しています。

- 「介護職の医療行為について」SUS研修②
平成23年9月13日（火）/アバンセ
現場スタッフが抱える、日常ケアの限界
や可能性、必要性等について学び、現場
の切実な悩みを共有しました。
- 「労務関係について」TMS研修②
平成23年10月7日（金）/アバンセ
宅老所経営者の日頃の悩みや疑問を中島
啓子社会保険労務士と解決！また、助成
金等の事業者に必要な資金調達について
情報共有をしました。
- 「介護技術について」SUS研修③
平成23年11月15日（火）/アバンセ
森恵美先生をお招きして、皆で実践なが
らレクリエーションの本質的意義を考える
貴重な時間となりました！
真剣な中にも大笑いのある素敵な研修でした！



会場はいつも
満員盛況！

続報！「宅老所復興支援プロジェクト」

県宅老ではみやぎ宅老連絡会と連携を取りながら、毎月2人の介護職員の派遣（瓦礫撤去やパルソル喫茶等）と物資等の支援（募集・仕分け等）を行い続け、毎月の研修会で、その報告会を随時実施しています。

現地派遣ボランティアの方々も6月から現在まで継続して繋いで着ました。参加者からの「気持ちもよく」「風化して欲しくない」「被災者の皆さんの笑顔で元気をもらった！」「一日を大切に過ごしたい」「いろいろな方に実際に行ってほしい！」等のたくさんのお礼と感想を頂いています。

県宅老は現地に寄り添いながら、「困った時はお互い様」の精神で、毎月2名の派遣や物資支援をはじめ様々な継続的な復興支援活動を引き続き計画しております。皆様、お気軽にお声掛けください！



上：復興支援仙台事務所の支援物資（近藤さん）
下：復活した「すみちゃんの家」（伊東さん）

佐賀新聞に掲載されました！

県宅老所 被災地復興を支援

多くの施設が地震や津波の被害を受けた宮津波の被災を受けた宮城県の宅老所連絡会を支援している。7月にリフト付きの介護車両1台を寄贈したほか、衣服な要。仮設住宅がなくなるまで「仮設住宅なくなるまで」

【江島貴之】
「仮設住宅なくなるまで」
260万円の寄付金を集めた。派遣した若手職員は宅老所の手伝いのほか、避難所や仮設住宅でボランティア向けの喫茶の運営に協力している。

介護車両や職員派遣

助け合いの精神息長く

【県内】
佐賀県内108の宅老所をつくる県宅老所連絡会（西田亭代表）が、東日本大震災被災地の復興支援に取り組んでいる。現地の宅老所や仮設住宅に必要な介護車両や衣類、寄付金などを送り、毎月2人の職員をボランティアとして派遣。「助け合い」の精神を生かした息の長い活動を目指している。



冬物衣類を被災地に送っている西田亭子代表（中央）ら県宅老所連絡会のメンバー＝佐賀市のNPO法人たすけあい佐賀

佐賀新聞 平成23年10月8日（土）

【震災復興支援に関してのお問合せ先】
佐賀県宅老所連絡会 TEL:0952-23-6950（山田）

東日本大震災支援金及び支援物資提供報告

（11月30日現在）

【研修会等での支援金カンパ】

・TMS研修①での募金（7月20日）	31,700円
・SUS研修②での募金（9月13日）	31,404円
・TMS研修②での募金（10月7日）	10,070円
・SUS研修③での募金（11月15日）	26,978円
研修会での募金	合計 100,152円

介護職員派遣・支援物資関係等に活用させて頂き、現在の全体残金は314,183円という状況です。

【支援物資】

支援金の他に新聞の影響もあり、たくさんの方々より支援物資も頂いておりますので、順不同でご紹介させていただきます。
松本様・岡本様・亀本様・島松様・蒲原様
江川様・小野様・碇様・岡様をはじめ、市民活動プラザ編物ボランティアの皆様等、多数のご支援をありがとうございます。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※詳細は各世話人及び年度末の機関誌にてご報告させていただきます。よろしくお願いたします。

～2011年度「佐賀県宅老連絡会」下半期予定～

※今年度の研修会は震災支援報告と支援金の募金を随時実施します。

- 「介護に関わる食事について」SUS研修④
平成24年2月21日（火）19時～アバンセ4階 第一研修室

【スペシャル企画】

- 「地域共生について（仮）」複数事業所連携事業（予定）
平成24年2月23日（木）19時～21時/アバンセ1階 大ホール
※その他、各ブロック毎に研修や視察等も行う予定です。各世話人にご確認ください。